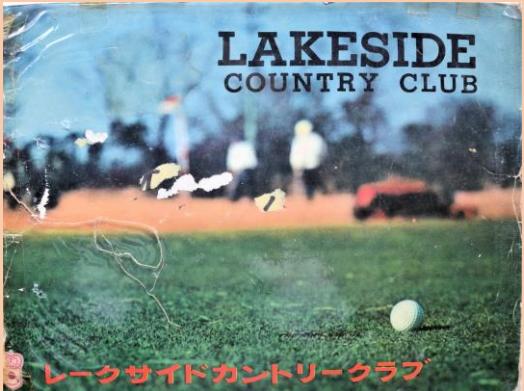


相模原市立公文書館第28回企画展



① サントリー原酒工場平面図(吉野地区) S41年



② 力道山の残したゴルフ場計画(レークサイドカントリークラブ)



③ 京王帝都電鉄の相模湖ターミナル
計画図(S41年)

開催期間・時間

令和8年 2月 3日(火)～4月 17日(金)
午前8時45分～午後5時

- ◇休館日／土・日曜日、祝日(なお、講演会・トーク・トークの開催日は開館)
- ◇第11回 公文書館講演会 令和8年3月7日(土) 午後2時～4時
「間の山(あいのやま)の歴史変遷と開発経過」 正覚寺前住職 山田正法氏(市文化財保護審議会委員)
- ◇公文書館トーク・トーク(展示解説)開催日／令和8年2月14日(土)、3月28日(土) 午後2時～3時

相模原市立公文書館 相模原市緑区久保沢1-3-1／電話042(783)8053

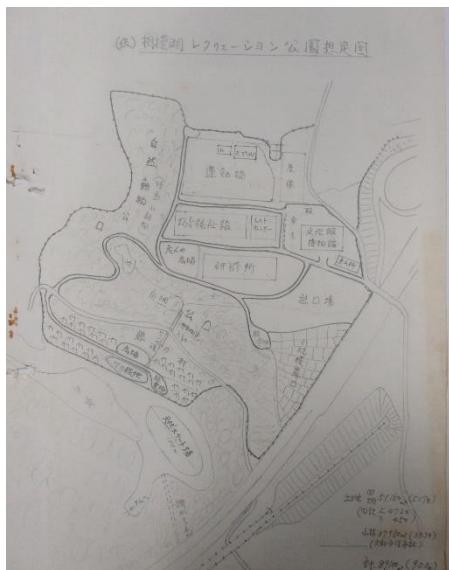
幻の昭和の開発事業 —相模湖・藤野地域—

相模湖の誕生から東京オリンピックの開催、中央自動車道の開通などの影響で、昭和20年代から40年代にかけて、相模湖・藤野地域では多くの開発事業が計画されました。それでも幻に終わった開発計画、糾余曲折を経て引き継がれている観光開発など3件を取りあげ、歴史的公文書を通してその経緯をたどります。

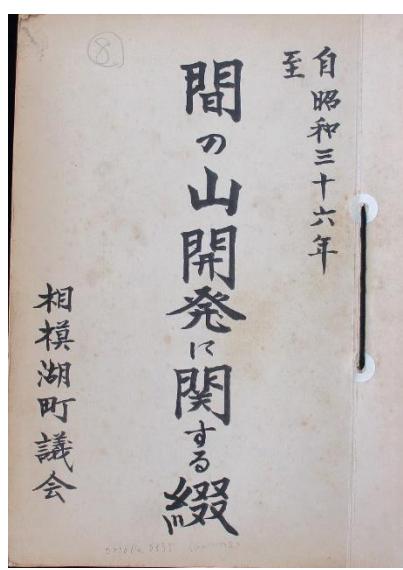
展示概要

旧藤野町吉野地区にサントリーの原酒工場の建設計画（現在のふじのマレットゴルフ場）、旧相模湖町「間の山」（あいのやま）に力道山によるゴルフ場建設計画（現在のさがみ湖 MORIMORI）、同町与瀬地区に京王帝都電鉄の観光施設の計画（現在の北相中学校付近）がありました。いずれも実現しなかった計画ですが、同じような時期に計画された幻の3つの計画を取り上げ、歴史的公文書を通して、経緯や結果を確認していきます。

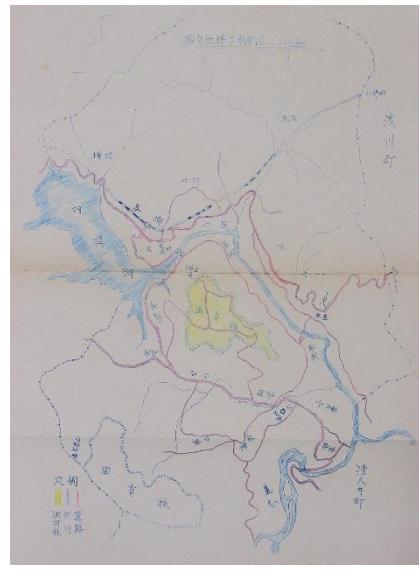
なお、展示資料のご利用については、企画展終了後の対応とさせていただきます。



(仮) 相模湖レクリエーション公園想定図「吉野地区の用地利用計画について」昭和49年4月24日『サントリーKK計画書関係』2021E a 0299



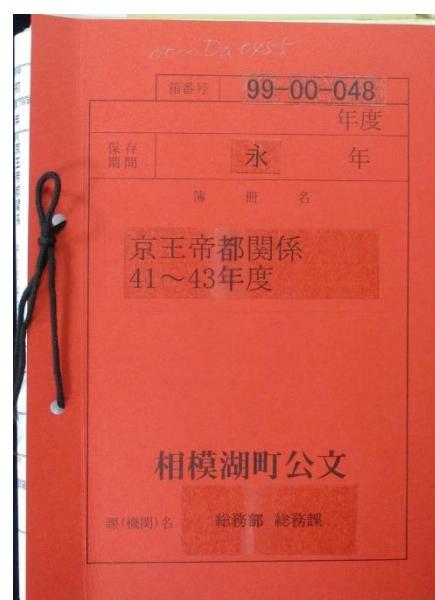
『間の山開発に関する綴』(昭和36年) 0000D a 0395



「国有林払下参考図」「国有林払下請願関係」(昭和30~31年)
0000D a 0392



「相模湖ピクニックランド鳥瞰図」
(個人蔵) (昭和47年開園)



『京王帝都関係』(昭和41~43年)
度) 0000Da0455



「専売公社敷地 計画地平面図」『京王帝都関係』
0000Da0455